

東京医学会

東京医学会 第 2467 回集会

日時：平成 21 年 1 月 26 日（月） 16：00～17：00

場所：医学部二号館（本館） 1 階 小講堂

演者：Paul Yu 博士

（所属）Harvard Medical School, Massachusetts General Hospital（米国）

演題：Small Molecule Modulation of Bone Morphogenetic Protein Signaling in Physiology and Disease

紹介：骨形成因子（BMP; Bone Morphogenetic Protein）は骨の形成をはじめ、さまざまな種類の細胞の分化・増殖に重要な役割を果たしています。BMP はタイプ I とタイプ II 受容体に結合することにより、そのシグナルが伝達されますが、BMP シグナルの異常な活性化により進行性骨化繊維増殖症(Fibrodysplasia Ossificans Progressiva: FOP)などの疾患が引き起こされることが報告されています。Yu 先生はゼブラフィッシュを用いたスクリーニングにより BMP タイプ I 受容体(ALK-2, 3, 6) を特異的に阻害する低分子化合物(Dorsomorphin)を同定しました。本セミナーでは FOP のモデルマウスを用いた BMP シグナル阻害剤の治療に向けての可能性の検討を含めて最新の知見をお話いただく予定です。今回は博士のお話が聞ける貴重な機会ですので、多数の先生方の御来聴をお待ちしております。

主催：東京医学会

共催：分子病理学 教室

グローバル COE プログラム

「生体シグナルを基盤とする統合生命学」